

社会奉仕委員会

社会奉仕委員会 統轄委員長 金井 福則 (本庄 RC)



【地域社会奉仕委員会】

社会奉仕とは、クラブ所在地域に住む人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら会員が行う様々な取り組みのことです。また、ロータリアン一人ひとりが「超我の奉仕」を実証する機会でもあります。

近年地域の連帯感や人間関係の希薄化が進み、地域社会の為に活動することが少なくなりつつあります。このような社会状況の中、地域社会奉仕委員会の役割は、各クラブへの情報提供と各クラブ同士の意見交換の場を作り、学びの機会を提供することです。ロータリークラブが主体性を持ち、仲間と共に奉仕を実践し、その達成感や幸福感を皆で分かち合えるように、そして地域社会においてロータリークラブの役割を見出し、ロータリアンにとって学びの機会となるようサポートしていきたいと思えます。

【子ども家庭委員会】

世界を取り巻く貧困問題について、テレビやネットのニュースなどで耳にします。私たちの暮らす日本においても貧困問題は、近年非常に深刻な問題となっています。特に、日本の子どもの貧困率は、1990年半ばから上昇しており、7人に1人が貧困状態にあります。さらにひとり親世帯になると約半分にまで増加します。ひとり親世帯の中でも母子家庭に絞ると平均就労年収は236万円（父子家庭496万円）と相対的に厳しい経済状況です。近年問題となっているのが経済的要因による子ども教育格差、体験格差の拡大です。それらは将来的に、社会にとって大きな損失となります。そうならないためにも、国や自治体の支援だけではなく、地域ぐるみで支え合う「誰一人取り残さない社会」を目指していくことが大切です。次世代の社会を担うすべての子どもたちが未来への希望を持ち、社会を生き抜く力を育むことが出来るように「子ども家庭委員会」は子どもの貧困の一助となる活動を展開していきたいと思えます。

【社会奉仕委員会全体として】

ロータリーは1979年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、懸命な撲滅活動を続け、全世界でポリオ発症数を99%減らすことに成功しました。現在は、2カ国（アフガニスタン・パキスタン）にポリオが発症しています。あと少しでポリオを撲滅できるところまでできています。わずか60円ほどのワクチンで一人の子どもの生涯をポリオから守ることができます。クラブや地元地域で募金活動を行ってポリオ撲滅のために大きな支援を集め、同時にロータリーのポリオ撲滅活動を多くの人に紹介、関心を高めていきたいと思えます。社会奉仕委員会全体でポリオ根絶のイベントを開催致します。皆様方には是非ともご支援、ご協力のほど宜しくお願い致します。